

令和3年度第3回 国土交通省大阪航空局 総合評価等に関する委員会  
審議概要

開催日及び場所	令和3年9月17日（金）オンライン開催（大阪航空局会議室ほか）
委員	委員長 古阪 秀三（立命館大学客員教授） 委員 鎌田 敏郎（大阪大学大学院工学研究科教授） 委員 倉本 宜史（京都産業大学経済学部准教授）
内容	<b>審議事項</b> 1) 中部国際空港管制塔長周期地震動対策基本調査 ・各技術提案の個別評価項目の審査及び評価結果の妥当性  2) 有害鳥類防除業務 ・市場化テスト終了プロセスにおける契約方式の見直しについて
委員からの 意見・質問	意見・質問
	別紙【議事要旨】のとおり
委員会による具 申内容	審議内容を了承

【議事要旨】委員からの主な意見・質問

審議事項 1)：中部国際空港管制塔長周期地震動対策基本調査

(質問) 提出された技術提案書を特定しない場合はあるのですか。

(回答) 「業務の理解度及び取り組み意欲」、「業務の実施方針」、「特定テーマに対する技術提案」の、いずれかの評価において、採点を行った委員の評価点の平均が0点である場合には特定しない、ということになっています。

(意見) 土木構造物の場合は建築物よりも、より長期の耐久性が求められるという観点がありますが、補強部分の耐久性や維持管理性を今回の業務を進めていくなかで検討が必要と思いました。

なお、今回は1者からの提案でしたが、当該構造物の特徴を的確に捉えた非常に良い技術提案だと思います。また、評価についても適切な評価が行われていると判断しました。

(回答) この管制塔を長期に使う必要性はございますので、いただきました意見のとおり、維持管理性につきましては、発注して契約した後に検討させていただければと考えております。

審議事項 2)：有害鳥類防除業務

(質問) 応札業者を拡大するためのセミナー現地見学会を継続されるということですが、どういう風に、それを世間に広めていらっしゃるのか、広報をどのようにされているのか。

(回答) 大阪航空局のホームページに掲示し周知し、応札したいと言う事業者については、幅広く拾い上げて努力しています。仕様書だけでは判りにくいと言うご意見がございましたので、実際に業務をやっているところを見てもらうことで啓蒙活動しています。

(質問) 現地見学会には複数の会社が来られているのか、それとも応札される1者が結局、来ているだけと言う状況なのでしょうか。

(回答) 実際に、現地見学会などについては、継続して検討している会社がおりましたので、複数の会社が見に来ております。

(質問) 複数の会社が見学には来られているが、結局は応札に来てくれないということに関し、理由は銃器を扱うこと、例えば免許の取得が難しいですとかリスク対応ができてないとか、そういうことが原因で応募してくださらないという理解で、それはきちんと業者にヒアリングをした結果、そういう意見になったという理解でよろしいでしょうか。

(回答) 事業者の方には、応札しなかった理由なども見学会に来たのであれば、確認しており、銃器の扱うところが大きなネックになっています。銃器を取り扱ううえでは銃器の所持の許可が必要であり、狩猟の免許も必要になります。更に、鳥だったり動物であったり自治体の許可も必要になりますので、そのような手続きであったり、そのような者を集めるのが難しいということを聞いております。

【共通事項】

特になし。

以上